



第33回日本静脈経腸栄養学会学術集会

The 33rd Annual Meeting of Japanese Society for Parenteral and Enteral Nutrition

スポンサードシンポジウム

腸とプレバイオティクスの最前線

—明日から実践できる食物繊維の活用—

2018

2/22 木

13:30 ▶ 15:30

第2会場

パシフィコ横浜
会議センター 1階 メインホール

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

司会 佐々木 雅也 先生

滋賀医科大学医学部 看護学科 基礎看護学講座 (生化・栄養) 教授
滋賀医科大学医学部附属病院 栄養治療部 部長

矢吹 浩子 先生

医療法人明和病院 看護部長

演者 基調講演 「新たな臓器としての腸内細菌叢 食物繊維の関わり」

安藤 朗 先生 滋賀医科大学医学部 消化器内科 教授

演題 1 「急性期領域でのプレバイオティクスの活用」

宮澤 靖 先生 社会医療法人近森会 近森病院 臨床栄養部長 栄養サポートセンター長

演題 2 「慢性期での食物繊維高含有流動食によるプレバイオティクスの検討」

垣内 英樹 先生 社会福祉法人札幌慈啓会 慈啓会病院 内科

演題 3 「プレバイオティクスを活用した失禁関連皮膚炎予防の可能性」

畠山 誠 先生 社会医療法人ピエタ会 石狩病院 看護部 皮膚・排泄ケア認定看護師

演題 4 「高齢者がより良く生きるための排便コントロール事例報告」

奥田 由美 先生 特定医療法人三上会 東香里病院 看護部長

演題 5 「プレバイオティクスの観点から次世代の経腸栄養管理の在り方を考える」

水野 英彰 先生 医療法人社団悦伝会 目白第二病院 副院長 外科・消化器外科部長

共催

第33回日本静脈経腸栄養学会学術集会 /

ネスレ日本株式会社 ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー